

経営指標を用いた経営モデル作成支援ソフト					
[要約] 開発したソフトは、農業経営指標などのデータをもとに、作物や品種・作型を自由に組み合わせ、対象となる経営の土地・労働力条件から試算した経営モデルを出力する。					
佐賀県農業試験研究センター・ 企画情報部・情報システム研究担当			連絡先	0952-45-2142 nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp	
部会名	作物	専門	情報処理	対象	—

[背景・ねらい]

経営指標（作目の標準的な規模・技術における経営についての指標）をもとに作成する経営モデルは、営農計画としての提示や経営改善への活用が期待される。そこで、経営指標をもとにして、作目の組み合わせ、作付面積、労働力、生産量、市場単価などの営農条件を変化させ、目標となる経営モデルの作成を支援するソフトを開発する。

[成果の内容・特徴]

1. このソフトは、作物や品種・作型を自由に組み合わせて作付面積を設定し、対象となる経営の土地・労働力条件のなかで、目標とする経営の収支や労働時間を試算した経営モデルを出力する。（図1）
2. 設定できる作物は最大6作物、品種・作型数は最大20であり、農業経営指標などをもとに作成するデータファイルを読み込んで使用する。
3. 経営モデルの作成には、所得を最大とする線形計画法、所得と総労働時間など複数の目標値を設定する目標計画法を利用した試算ができる。また、利用者が想定する任意の面積を設定して試算を行うこともできる。
4. 降雨条件に左右される作業では、過去20年の降雨データから旬別の必要作業人員と作業機を計算し出力する。逆に線形計画、目標計画の試算では作業人員や作業機台数をもとにした旬別作業可能時間を制約条件として設定する。これにより作業における降雨条件を加味した経営モデルの作成が可能となる。
5. 品種・作型毎には場占有期間を設定するので、組み合わせによるほ場の利用計画をチェックし出力する。

[成果の活用面・留意点]

1. このソフトを用いることで、新規就農を希望する人や規模拡大・新規品目の導入を目指す農業者に対して、具体的な営農計画を提示することができる。
2. このソフトを利用するためには Microsoft Excel と XLP（営農計画のための線形計画プログラム 中央農業総合研究センター作成）が必要である。

[具体的データ]

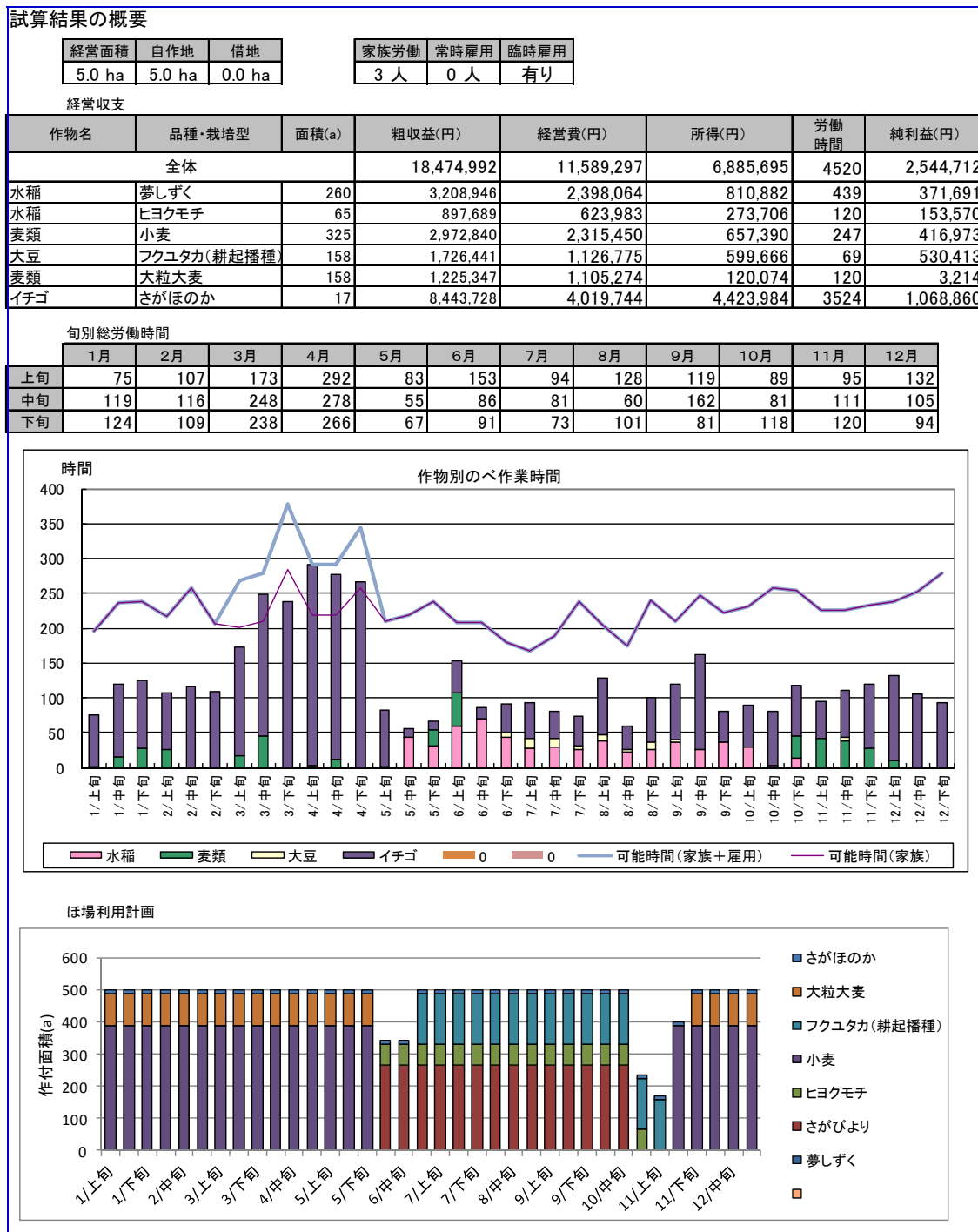


図1 試算結果概要の出力例

注) 水稻、麦、大豆、イチゴを組み合わせた線形計画試算結果(所得最大)

転作率35%、水稻の精割合20%

可能労働時間は旬別日照時間を使用、作業日数割合86% 3月、4月に1人を臨時雇用 賃金1000円/時

主な機械装備: 自脱コンバイン3条G, 乗用トラクタ31ps, 乗用田植機4条, トラック軽, 乗用管理機21ps,

施肥播種機4条, 培土機, 管理機, トラクタカルチ, ドレーナー, 石灰散布機, 大豆播種機 各1台 施設: イチゴハウス

[その他]

研究課題名: 経営指標を用いた経営モデル作成および経営診断支援ソフトの開発

予算区分: 県単

研究期間: 2012~2013年度

研究担当者: 重富 修、三浦 裕子